



# 日本医歯薬専門学校視能訓練士学科 第2回研究成果発表会

－プログラム・抄録集－



2024年1月30日(火)  
座・高円寺 ホール2

主催：学校法人東京滋慶学園  
日本医歯薬専門学校

# 日本医歯薬専門学校視能訓練士学科 第2回研究成果発表会

## 【会期】

2024年1月30日（火）開場12:30 開演13:00

## 【会場】

座・高円寺 ホール2  
〒166-0002  
東京都杉並区高円寺北2-1-2  
電話03-3223-7500

## 【主催】

学校法人東京滋慶学園 日本医歯薬専門学校  
〒166-0003  
東京都杉並区高円寺南2-44-1  
電話03-5377-2200

## 【講演時間】

発表 7分  
質疑応答 3分  
※講演・討論時間も含めて、1題10分以内とします

## 【審査員】

日本医歯薬専門学校	学校長	須田 英明
日本医歯薬専門学校	事務局次長	植田 慎司
東京医薬看護専門学校	副学校長	一宮 頼子
学校法人滋慶学園グループ	常務理事	古島 暉大

## 【教育講演】

あい練馬眼科	院長	古賀 紀子
--------	----	-------

## 【略歴】

平成3年日本大学医学部卒業  
日本大学光が丘病院、東川口病院、明海大学歯学部附属病院  
明海大学歯学部附属明海大学病院准教授  
眼科専門医 神経眼科相談医

## 【所属学会】

日本眼科学会 神経眼科学会  
近視学会 弱視斜視学会

## 一般演題 4

# 含水率の異なるソフトコンタクトレンズ装用者の 綿糸法による涙液量の経時的変化

日本医歯薬専門学校 視能訓練士学科6期生 4班  
國井輝 田中千晴 田中春花 野村光 堀江心葉 三田瑚夏 柳瀬ほのり

【目的】コンタクトレンズ（CL）を角膜上に装用することにより瞬目回数が減少し、それに伴い涙液も減少すると言われている。また、装用感から含水率の異なる種類のCLが販売されている。今回含水率の異なるCLの使用時間による涙液量の変化の関係について検討した。

【対象と方法】対象はCLを使用している20人20眼、平均年齢20歳±1.6歳を対象とした。含水率が50%未満を低含水群、50%以上を高含水群と2群に分けた。涙液検査は綿糸法にて行い、装用前、装用3時間後、装用6時間後で両群間で涙液量の検討をした。

【結果】低含水率群の涙液量(mm)の平均は1回目:24.6±4.5、2回目:18.8±8.0、3回目:17.1±8.9、高含水率群は1回目:25.2±9.2、2回目:17.5±7.8、3回目:15.8±6.4という結果となった。両群とも涙液量は低下する傾向にあったが、高含水率群の1回目と2回目のみ涙液量に統計学的有意差が見られた。

【結論】CLを3時間以上装用すると涙液の減少傾向があることが示唆された。低含水率より高含水率のCL装用の方が装用後の涙液量が減少すると考えられた。今後より細かい経時的変化や、CLの種類なども検討する必要があると考えられる。

【利益相反公表基準：該当】 無

【倫理審査：承認】 有 【IC：取得】 有